



SAP Ariba 

機能の概要

Proof of Service API

Franck Dupas、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Proof of Service API

今までの課題

サービス証明 (PoS) は、サービスオーダーのサービス明細が完了したことを証明するデジタルドキュメントです。

サービス証明を作成する機能は、サービスの完了を証明するデジタルレコードを作成できるため、組織にとって重要な機能です。

たとえば、石油およびガス上流業界では、フィールドサービス作業のサービス証明としてフィールドチケットを使用しています。

Ariba Network では、現在、Proof of Service API を提供していません。

対象ソリューション

Ariba Network サービスの自動化
SAP Ariba APIs

SAP Ariba で問題解決

Proof of Service API では、サービス証明を処理する手段、すなわち、サービス証明の作成、データの更新、状況の変更、サプライヤーの確認者とバイヤーの承認者の追加、サービス証明と注文書のリンク、データの表示、およびその他さまざまなアクションを伴う添付ファイルの追加またはダウンロードを行うための手段を提供します。

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

導入の難易度
対象エリア

やや複雑
グローバル

主なメリット

完了したサービスの証明となるデジタルレコードを使用することで、組織は効率を高め、サービス証明として使用する紙のチケットの処理に必要な時間を節約できます。このことは、特に複数の技術者や外部のコントラクターによってサービスオーダーが実行される場合に役立ちます。

この API により、サプライヤーは、サービス証明を提供する目的で、外部アプリケーションを Ariba Network に接続することができます。

前提条件と制限事項

サービス証明の権限を持つ役割を設定し、ユーザーをこれらの役割に割り当てる必要があります。これに先立ち、バイヤーは、サービス証明機能の有効化を要求する必要があります。

この API は、エンタープライズアカウントのサプライヤーのみが利用できます。

Proof of Service API を使用してサービス証明を作成するサプライヤーに対しては、取引サブルール [サプライヤーはサービスシート (SES) を提出する前にサービス証明 (POS) を作成する必要があります] を有効化しないでください。

USD が唯一のサポート通貨となります。

機能の概要

説明: Proof of Service API

機能の詳細情報

サービス証明の概要については、Ariba Network (サプライヤ様向け) ドキュメント「オーダーの受信と完了」の章「サービス証明に関するトピック」(<https://help.sap.com/viewer/45abc7c531754929a19c6a844bd5d6ec/cloud/en-US/00fdad1e3c414c8a9aea472bdb3fb531.html>) を参照してください。

このドキュメントには、以下が記載されています。

- サービス証明は注文書の 1 つの明細に対応しています。
- サービス証明は注文書明細レベルでのみ作成することができます。
- サービス証明はサービス明細に対してのみ作成することができます。

バイヤー向けの注記: Proof of Service API を使用してサービス証明を作成するサプライヤがサービスシートを作成できるようにする場合、これらのサプライヤに対しては、取引サブルール [サプライヤはサービスシート (SES) を提出する前にサービス証明 (POS) を作成する必要がある] を有効化しないでください。このサブルールによって、サービスシートの提出前に SAP Field Service Management を使用してサービス証明のみが承認されます。

API を使用して作成されたサービス証明のデータを確認する方法として、以下の 2 つがあります。

- Ariba Network でサービス証明レポートを使用する
- Proof of Service API を使用して表示する

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明のヘッダー詳細 (1/2)

サービス証明 (PoS) のヘッダーには、以下および次のページに示すデータが含まれます。

ヘッダーのフィールド名 (1/2)	データの種類	説明
ドキュメント番号	英数字	サービス証明ドキュメントのサプライヤ組織別の一意の識別子
地域	テキスト	サービスが実行された地域またはサイトのコード
開始日	日付	サービス提供の開始日時
終了日	日付	サービス提供の終了日時
説明	テキスト	完了したサービスの説明。チケットが注文書 (PO) から作成されている場合、PO からのサービスの説明がコピーされます
プロジェクトコード	テキスト	プロジェクトを説明する汎用コード (AFE コードなど)
注文書番号	英数字	サービス証明がリンクされる注文書 (PO)
会計	英数字	サービス証明の会計コード。最初は PO から取得されます
作成者	ユーザー ID、名、姓、Ariba Network ID	サービス証明を作成したユーザー
作成日	日付	PoS の作成日
完了者	英数字	タスクを実行したコントラクタのユーザー ID

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明のヘッダー詳細 (2/2)

サービス証明 (PoS) のヘッダーには、以下および前のページに示すデータが含まれます。

ヘッダーのフィールド名 (2/2)	データの種類	説明
状況	値の一覧 (7 ページ参照)	処理状況に応じたサービス証明の状況。このドキュメントで後述する許容値を参照してください
確認者	英数字	サービス証明を確認して注文書明細にリンクし、承認のために提出するサプライヤのユーザー ID (現場の直属の上司)
確認コメント	テキスト	サービス証明の確認について直属の上司が追加したコメント
承認者	英数字	サービス証明を承認または却下するバイヤーのユーザー ID
バイヤーのコメント	テキスト	サービス証明の承認または却下についてバイヤーが追加したコメント
添付ファイル	ドキュメント	サービス証明への添付ファイル (写真など)
合計金額	数値	課金対象の数量に単価が乗算されたすべてのサービス証明明細の合計

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明明細の詳細

以下の表に、サービス証明明細の詳細を示します。

明細のフィールド名	データの種類	説明
明細番号	数値	サービス証明に含まれるサービス証明明細の明細番号
注文書明細番号	数値	サービス証明明細がリンクされる注文書サービス明細の明細番号
種類	値	サービス証明明細の種類 (サービスまたは品目)
説明	テキスト	サービス証明明細の品目またはサービスの説明
数量	数値	タスクのために使用された品目または提供されたサービスの数量
課金対象数量	数値	バイヤーに課金され請求処理される品目またはサービスの数量
数量単位	英数字	品目またはサービスの数量の数量単位
単価	数値	品目の単位あたりの価格。
通貨	通貨コード	サービスの支払いに関する通貨コード
開始	日時	サービスの開始日時。品目には適用されません
終了	日時	サービスの終了日時。品目には適用されません
コメント	テキスト	サービス証明明細に関するコメント

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明の状況

サービス証明のステータスは、ユーザーの役割およびサービス証明 (PoS) の現在の状況に基づいて更新することができます。

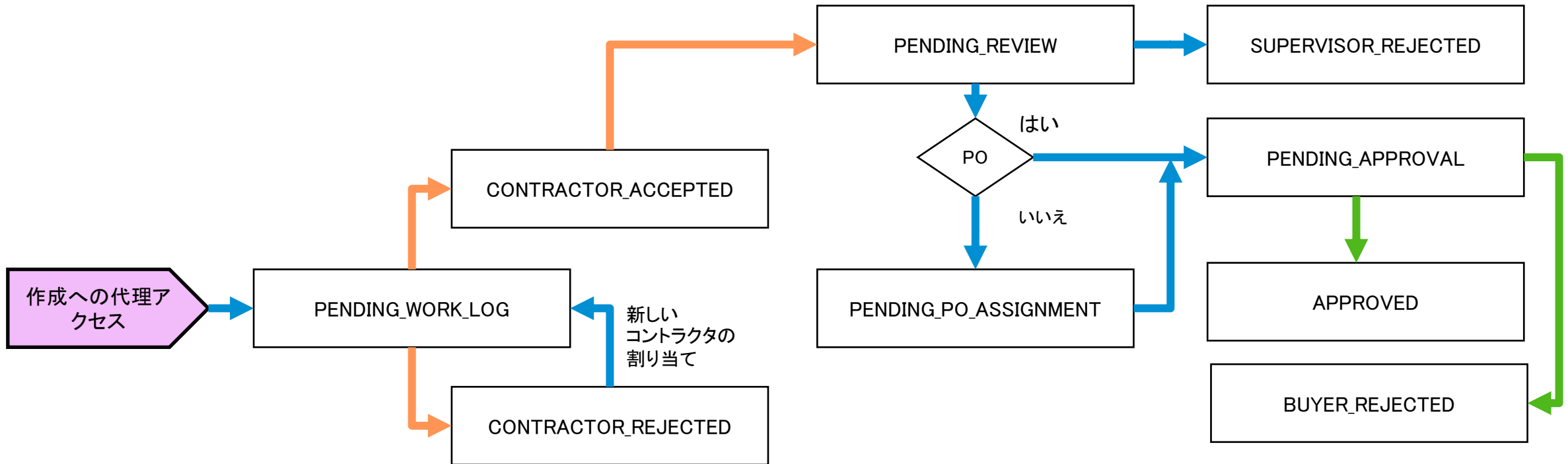
以下に、サービス証明の状況のさまざまな値を示します。許容されている遷移については、次のページで説明します。

サービス証明の状況	説明
PENDING_WORK_LOG	コントラクタに代わってサプライヤのユーザーがサービス証明を作成しました。コントラクタからのサービス詳細の提供を待っています。
CONTRACTOR_REJECTED	コントラクタに代わってサプライヤのユーザーがサービス証明を作成しましたが、コントラクタが却下しました。サプライヤのユーザーは、サービス証明を別のコントラクタに割り当てることができます。
CONTRACTOR_ACCEPTED	コントラクタに代わってサプライヤのユーザーがサービス証明を作成し、コントラクタが承認しました。
PENDING_REVIEW	サービス証明は直属の上司 (確認者権限を持つサプライヤのユーザー) による確認待ちです。
PENDING_PO_ASSIGNMENT	サービス証明はサプライヤのユーザーによる注文書情報の割り当て待ちです。
SUPERVISOR_REJECTED	直属の上司 (確認者権限を持つサプライヤのユーザー) がサービス証明を却下しました。
PENDING_APPROVAL	サービス証明はバイヤーによる承認待ちです。
BUYER_APPROVED	バイヤーがサービス証明を承認しました。
BUYER_REJECTED	バイヤーがサービス証明を却下しました。PoS が直属の上司またはバイヤーによって却下された場合、PoS ワークフローが終了します。サプライヤまたはコントラクタは、承認を得るため、同じサービス明細について詳細を修正し、別の PoS を作成する必要があります。

機能の概要

説明: Proof of Service API

使用例 1 のサービス証明の状況遷移



サプライヤのサービス証明割り当て担当者（[サービス証明の作成への代理アクセス] 権限を持つ）が注文書情報を使用してサービス証明を作成し、コントラクタに割り当てます。コントラクタはサービス証明を承認し、実行の詳細を含めて完了するか、却下します。却下された場合、サービス証明割り当て担当者は別のコントラクタにサービス証明を割り当てする必要があります。直属の上司がサービス証明を確認し、承認者を選択してサービス証明を提出します。バイヤーの承認者はサービス証明を承認または却下します。

凡例

権限

コントラクタの処理

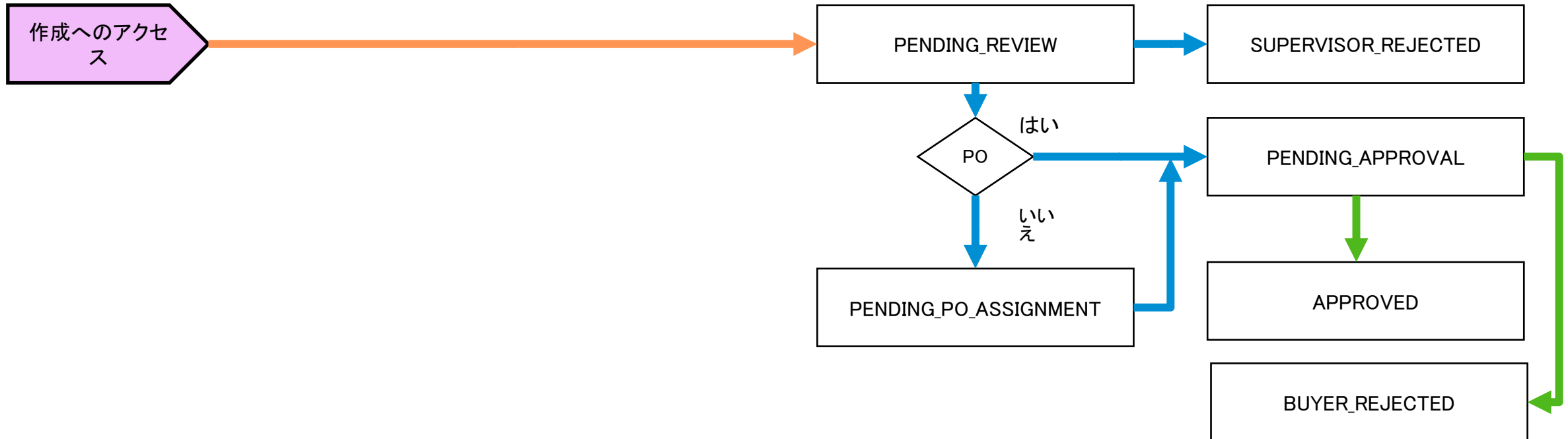
バイヤーの承認者の処理

サプライヤの割り当て担当者または直属の上司の処理

機能の概要

説明: Proof of Service API

使用例 2 のサービス証明の状況遷移



コントラクタ ([サービス証明の作成へのアクセス] 権限を持つ) がサービス証明を作成します。サービス証明を却下または承認するサプライヤの直属の上司 ([サービス証明の確認権限] 権限を持つ) によってサービス証明が確認されます。直属の上司はサービス証明を却下するか、注文書情報を追加し、承認者を選択してサービス証明を提出します。バイヤーの承認者 ([サービス証明の承認へのアクセス] 権限を持つ) はサービス証明を承認または却下します。

凡例

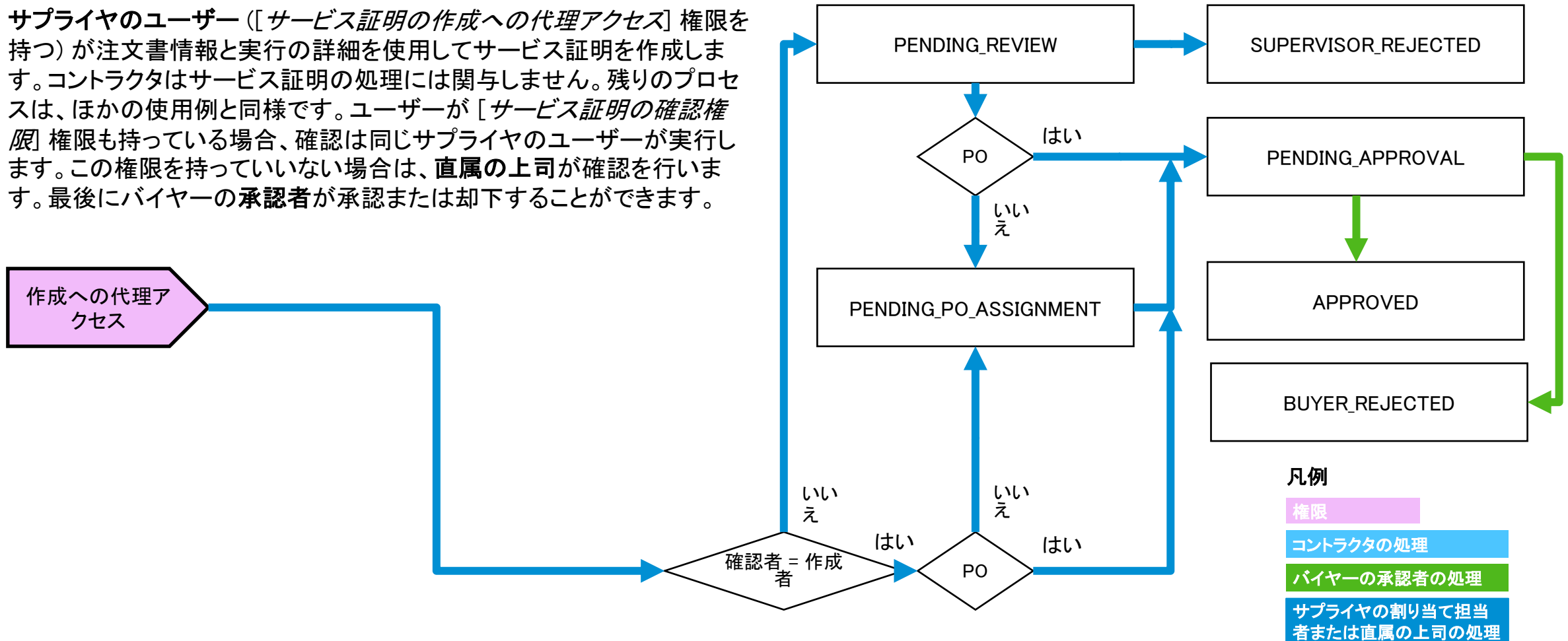
- 権限
- コントラクタの処理
- バイヤーの承認者の処理
- サプライヤの直属の上司の処理

機能の概要

説明: Proof of Service API

使用例 3 のサービス証明の状況遷移

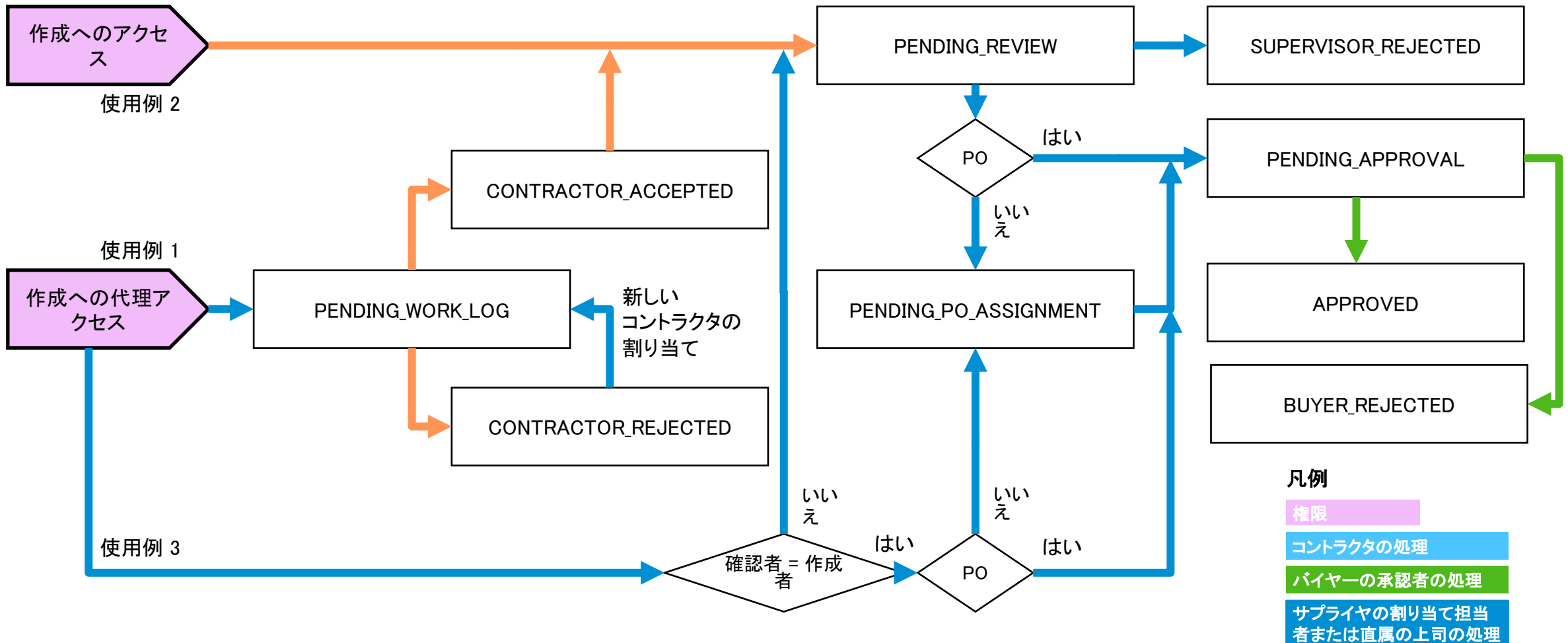
サプライヤのユーザー（[サービス証明の作成への代理アクセス] 権限を持つ）が注文書情報と実行の詳細を使用してサービス証明を作成します。コントラクターはサービス証明の処理には関与しません。残りのプロセスは、ほかの使用例と同様です。ユーザーが[サービス証明の確認権限] 権限も持っている場合、確認は同じサプライヤのユーザーが実行します。この権限を持っていない場合は、直属の上司が確認を行います。最後にバイヤーの承認者が承認または却下することができます。



機能の概要

説明: Proof of Service API

まとめ: サービス証明の状況遷移 (すべての使用例)



機能の概要

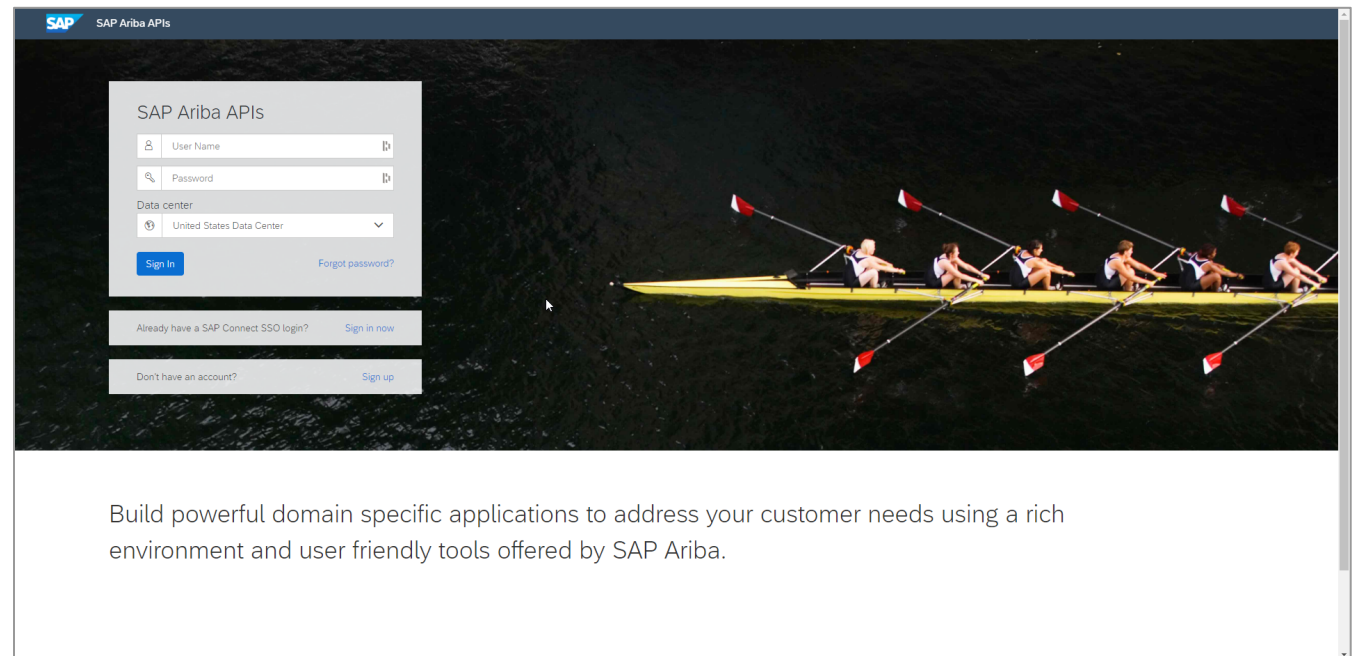
説明: Proof of Service API

API へのサプライヤのアクセス

サプライヤは、以下の 2 つの方法で、SAP Developer Portal の SAP Ariba APIs にアクセスすることができます。

- <http://developer.ariba.com/api/> に直接アクセスする
- Ariba Network の [アカウント設定] からアクセスする

詳細については、**NP-23412 Ariba Network エンタープライズサプライヤの SAP Ariba Developer Portal へのアクセス** に関するリリースガイドを参照してください。



機能の概要

説明: Proof of Service API

機能の一覧

以下に示すリリース済みの機能は、サービス証明の処理に使用することができます。

名前	機能 ID	対象者
Proof of Service API を使用したユーザー一覧の取得	NS-7318	サプライヤ
Proof of Service API を使用したサービス証明の作成	NS-7392	サプライヤ
Proof of Service API を使用したサービス証明の更新	NS-7401	サプライヤおよびバイヤー
Proof of Service API を使用したサービス証明の表示	NS-7536	サプライヤおよびバイヤー
Proof of Service API (サービス証明の添付ファイルの追加およびダウンロード)	NS-7273	サプライヤ

機能の概要

説明: Proof of Service API

Proof of Service API を使用したユーザー一覧の取得

この API では、ユーザー検証を実行することができ、ユーザーの役割に基づいて、Ariba Network でのサービス証明 (PoS) のコントラクタ、確認者、または承認者の一覧が返されます。この API エンドポイントを使用できるのは、サプライヤのみです。

この API を使用して、ユーザーは以下の情報を取得することができます。

- コントラクタは確認者の一覧を取得し、確認対象の PoS を割り当てることができます。
- サプライヤのユーザーはコントラクタの一覧を取得し、コントラクタに代わって PoS を作成することができます。
- サプライヤのユーザーは確認者の一覧を取得し、コントラクタに代わって作成した PoS の別の確認者を追加することができます。
- サプライヤのユーザーは承認者の一覧を取得し、確認する PoS の承認者を追加することができます。

PoS のコントラクタ、確認者、または承認者の一覧を取得するには、ユーザーが [サービス証明の作成へのアクセス]、[サービス証明の作成への代理アクセス]、または [サービス証明の確認権限] 権限を持っている必要があります。

ユーザーの一覧は、管理者によって作成され、バイヤーおよびサプライヤのユーザーに割り当てられた役割に基づきます。詳細については、ドキュメント「**オーダーの受信と完了**」の章「**サービス証明に関連するユーザーの権限を持つ役割**」を参照してください。

エンドポイント URL、要求フォーマット、ペイロードパラメータ、および応答フィールドの詳細については、リリースガイドを参照してください。

機能の概要

説明: Proof of Service API

Proof of Service API を使用したサービス証明の作成

この API により、Ariba Network でサービス証明 (PoS) を作成することができます。この API エンドポイントを使用できるのは、サプライヤのみです。

PoS を作成するには、ユーザーが **[サービス証明の作成へのアクセス]** または **[サービス証明の作成への代理アクセス]** 権限を持っている必要があります。ユーザーはサプライヤの組織に属します。

[サービス証明の作成への代理アクセス] 権限を持つユーザーは、PoS を作成して、それをコントラクタと呼ばれる別のユーザーに割り当てます。このユーザーは、通常、サービス証明のプロセスのコンテキストでは直属の上司と呼ばれています。

[サービス証明の作成へのアクセス] 権限を持つユーザーは、自身に割り当てられる PoS を作成します。つまり、PoS 詳細でのコントラクタは PoS の作成ユーザーとなります。

任意で、ユーザーはパラメータファイルに対して添付ファイルをアップロードすることができます。

エンドポイント URL、要求フォーマット、ペイロードパラメータ、および応答フィールドの詳細については、リリースガイドを参照してください。

サービス証明を作成するための必須フィールドは、**[ドキュメント番号]**、**[地域]**、**[開始日]**、**[終了日]**、**[説明]**、**[完了者]** (コントラクタ)、**[確認者]** です。

機能の概要

説明: Proof of Service API

Proof of Service API を使用したサービス証明の更新

この API により、ユーザーの役割およびサービス証明 (PoS) の状況に基づいて、Ariba Network で PoS を更新することができます。この API エンドポイントは、サプライヤおよびバイヤーが使用できます。

ユーザーは、以下の PoS 関連の権限のうち、いずれかを持っている必要があります。

- サービス証明の作成へのアクセス
- サービス証明の作成への代理アクセス
- サービス証明の確認権限
- サービス証明の承認へのアクセス

エンドポイント URL、要求フォーマット、ペイロードパラメータ、および応答フィールドの詳細については、リリースガイドを参照してください。

次のページでは、サービス証明の状況およびユーザーの権限に応じて更新することができるフィールドについて詳しく説明します。

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明の状況、役割、および詳細の更新

以下のパラメータは、サービス証明 (PoS) の状況に基づいて、さまざまな役割のユーザーが更新することができます。

サービス証明の状況	コントラクタ	コントラクタに代わって PoS を作成するサプライヤのユー ザー	直属の上司 (確認者)	バイヤー (承認者)
PENDING_WORK_LOG	状況	状況、コントラクタ、確認者、承認者	なし	なし
CONTRACTOR_REJECTED	なし	状況、コントラクタ	なし	なし
CONTRACTOR_ACCEPTED	状況、地域、説明、開始日、終了日、ファイル、およびすべての明細パラメータ (明細番号と注文書明細番号を除く)	なし	なし	なし
PENDING_REVIEW	なし	なし	状況、地域、説明、開始日、終了日、会計、プロジェクトコード、承認者 明細: 明細番号、説明、開始日、終了日、明細の種類、コメント、課金対象数量、ファイル、およびすべての注文書パラメータ	なし
PENDING_PO_ASSIGNMENT	なし	なし	状況、会計、プロジェクトコード、承認者、およびすべての注文書パラメータ	なし
SUPERVISOR_REJECTED	なし	なし	なし	なし
PENDING_APPROVAL	なし	なし	なし	状況、会計、バイヤーのコメント
BUYER_APPROVED	なし	なし	なし	なし
BUYER_REJECTED	なし	なし	なし	なし

機能の概要

説明: Proof of Service API

Proof of Service API を使用したサービス証明の表示

この API により、ユーザーの役割に基づいて、Ariba Network でサービス証明ドキュメントを表示することができます。この API エンドポイントは、サプライヤおよびバイヤーが使用できます。

ユーザーは、以下の PoS 関連の権限のうち、いずれかを持っている必要があります。

- サービス証明の作成へのアクセス
- サービス証明の作成への代理アクセス
- サービス証明の確認権限
- サービス証明の承認へのアクセス

すべてのユーザーがすべてのサービス証明の詳細（添付ファイルを含む）を表示することができます（ただし、次の詳細を表示できない（[サービス証明の作成へのアクセス] 権限のみの）コントラクトを除く）: プロジェクトコード、会計、承認者、単価、課金対象数量、合計金額。

エンドポイント URL、要求フォーマット、ペイロードパラメータ、および応答フィールドの詳細については、リリースガイドを参照してください。

機能の概要

説明: Proof of Service API

サービス証明の添付ファイルの追加およびダウンロード

この API により、Ariba Network で既存のサービス証明 (PoS) ドキュメントに添付ファイルを追加することができます。この API を使用して、PoS ドキュメントに関連付けられている添付ファイルをダウンロードすることもできます。この API エンドポイントを使用できるのは、サプライヤのみです。

証明書ドキュメントでの添付ファイルのサイズ上限は 10 MB です。ドキュメントごとのファイルの数に制限はありません。

実行可能ファイル以外、すべてのファイル形式がサポートされています。

エンドポイント URL、要求フォーマット、ペイロードパラメータ、および応答フィールドの詳細については、リリースガイドを参照してください。

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2020 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE がライセンスする、またはその頒布業者が頒布するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社の専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、こうした将来の見通しに関する記述を過度に信頼しないよう注意が求められ、また、購入時の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

SAP、ならびに本書に記載するその他の SAP の製品およびサービスは、そのそれぞれのロゴとともに、ドイツおよびその他の国々における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、www.sap.com/copyright を参照してください。